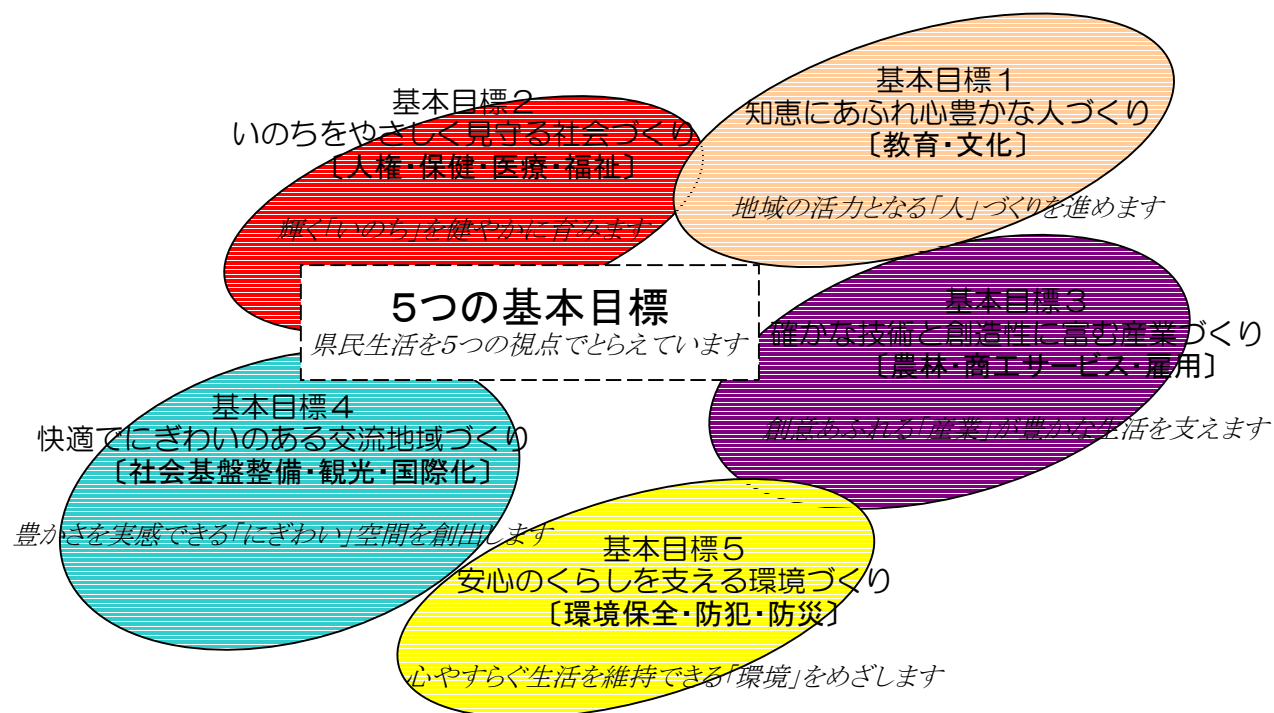
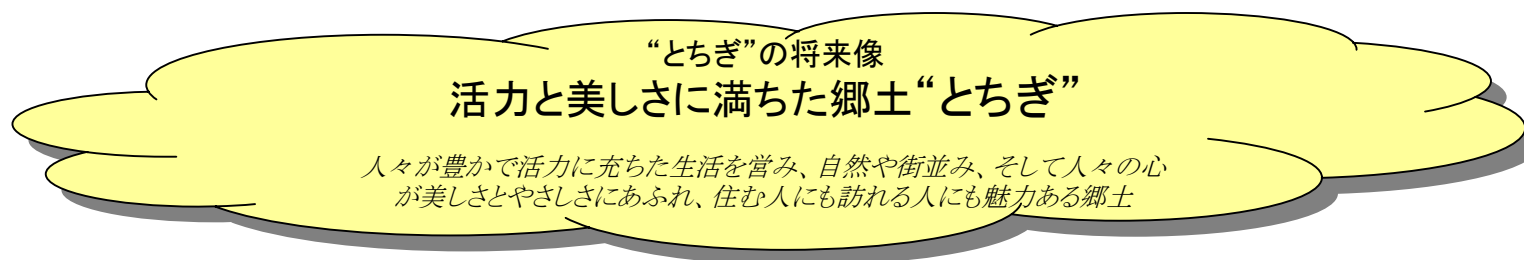
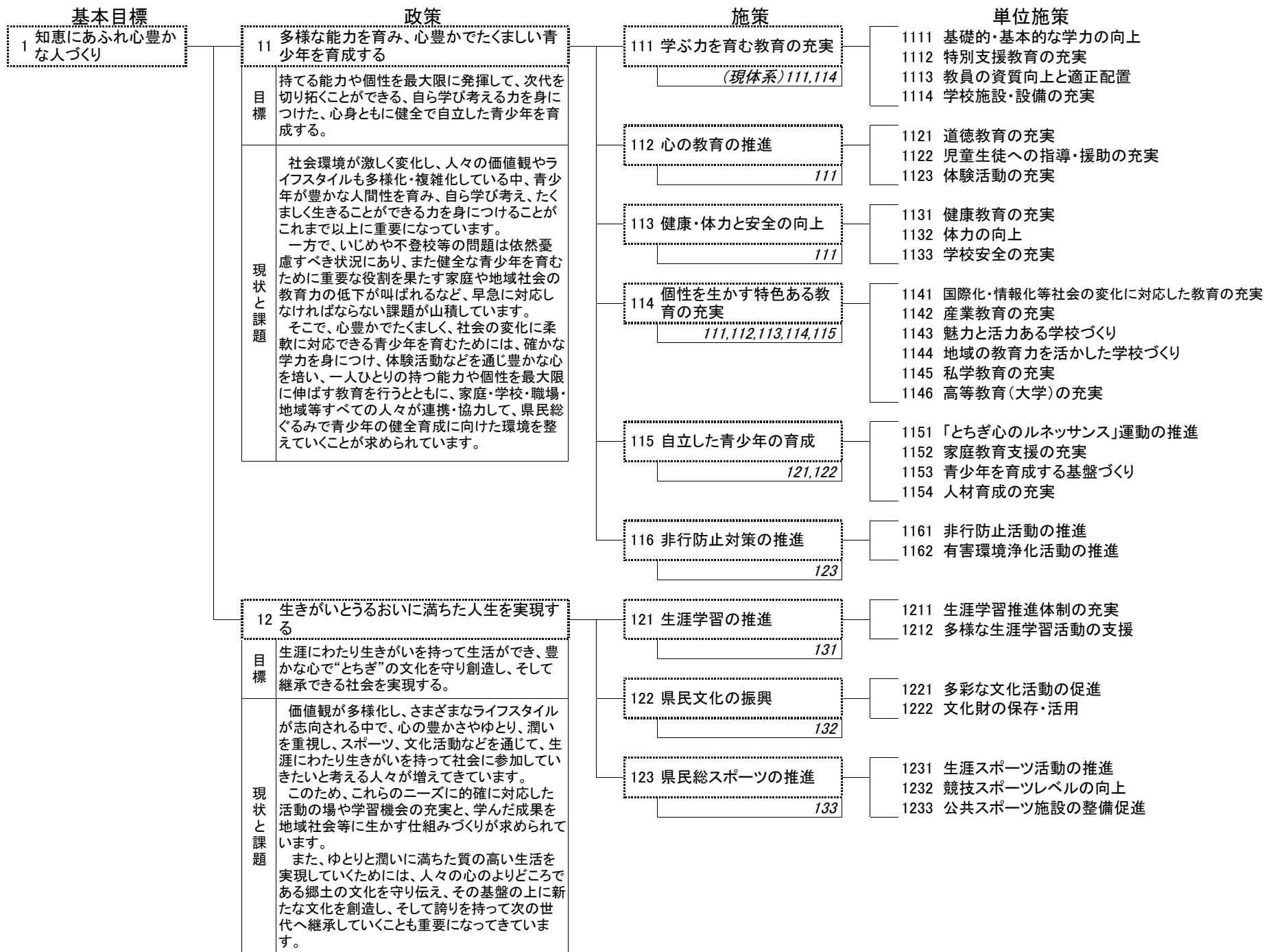


新しい総合計画の政策体系(案)







基本目標

3 確かな技術と創造性に富む産業づくり

政策

施策

単位施策

31 魅力ある農林業を確立する	目標 首都圏に位置する地理的優位性を最大限に発揮し、収益性が高く、産地間競争にも打ち勝つ農林業を確立するとともに、県内外の消費者に信頼される農産物や県産材を供給する。
現状と課題 本県の農林業は、全国有数の生産県として、生活の基礎となる食料や良質な木材を安定的に供給するという役割を果たすとともに、県土の保全や水源のかん養、良好な景観の形成といった多面的機能を発揮しています。 一方で、担い手の高齢化と減少、経済のグローバル化を背景とした輸入農産物や外材の増加、産地間競争の激化、さらには安全・安心な農産物供給や地球環境への貢献の要請など、解決すべき課題も数多くあります。 本県農林業が今後とも持続的に発展していくためには、こうした新たな要請にも積極的に対応しつつ、活力ある担い手の確保や効率的な生産・流通体制の確立を図るなど、収益性の高い生産構造としていく必要があります。	
32 知恵と技術による商工サービス業の振興と雇用の安定を図る	目標 豊かな産業集積や知的財産などを活用し、創造性ある商工サービス業を一層振興するとともに、個人のキャリア形成などを通じ、安定した雇用の確保を図る。
現状と課題 本県は、全国的に高い水準にある製造業の集積に加えて、商業・サービス業も着実な成長を遂げ、一人当たりの県民所得は、全国有数の水準を誇っています。 一方では、経済のグローバル化の進展等により、地域間や企業間の競争が激化しているほか、産業構造が変化中、雇用のミスマッチや、フリーター等の若年労働力問題も顕在化しており、経済や雇用を取り巻く環境は、大きく変化してきています。 今後、これまでの県民生活を維持し、さらに向上させていくためには、知恵と技術の活用や多様な連携等による付加価値の高い新事業の創出や産業の育成、産業の担い手である、創造力とチャレンジ精神に満ちた豊かな人材の育成などが求められています。	

311 消費者ニーズに対応した農産物の生産・流通の推進
(現体系) 312,313

312 活力ある担い手・経営基盤の確立
317,315

313 人と環境にやさしい農業の展開
314,315

314 豊かな森林づくり
321

315 活力ある林業の確立
322,323

321 明日を拓く産業の創造
331,332

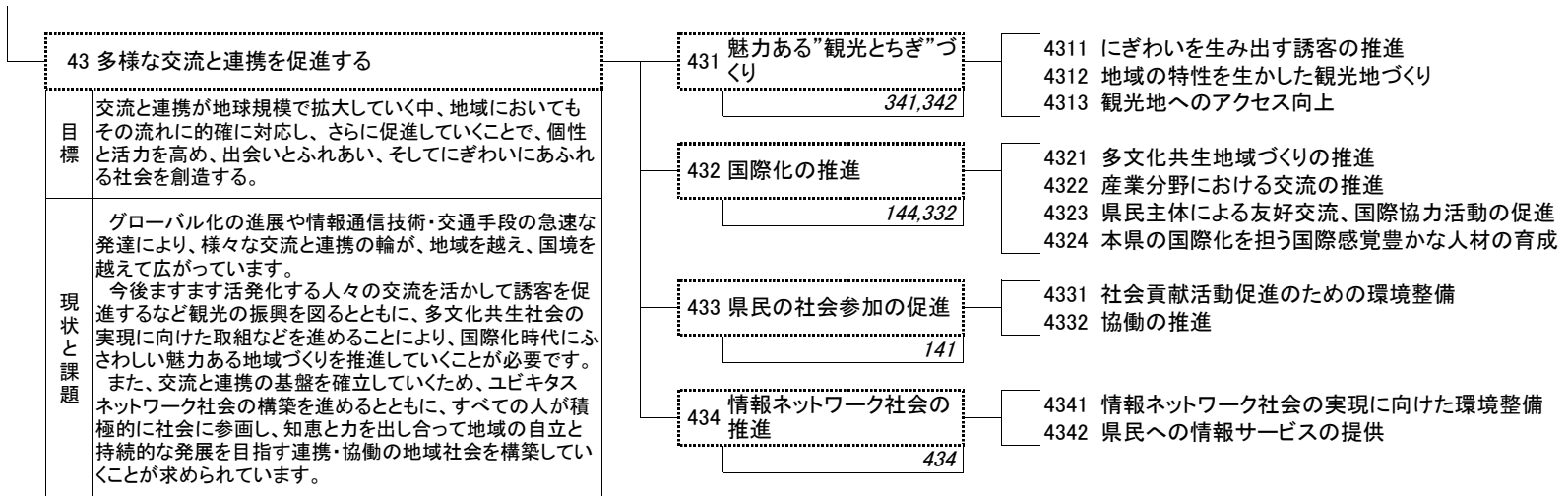
322 地域に根ざした産業の振興
333

323 成長性に富む企業の立地促進
334

324 地域雇用の安定と産業人材の育成
351,352,353

- 3111 とちぎブランド園芸作物の生産・流通
- 3112 とちぎブランド米の生産・流通
- 3113 とちぎブランド畜産物の生産・流通
- 3114 多彩な地域特産物・特産林産物の生産振興
- 3115 新たなとちぎブランド農産物の育成
- 3116 安全・安心な農産物供給体制の確立
- 3121 望ましい農業構造の確立に向けた担い手の育成
- 3122 農業・農村を支える幅広い人材の育成
- 3123 農業生産基盤の整備
- 3124 経営発展の基礎となる新品種・新技術の開発
- 3131 環境と調和のとれた農業生産の推進
- 3132 資源循環型農業の推進
- 3133 食と農の交流促進
- 3141 森林の多面的機能の向上
- 3142 森林の適正な管理
- 3151 林業担い手の育成確保
- 3152 林業生産基盤の整備
- 3153 県産材の需要拡大
- 3211 創業の促進
- 3212 競争力の高い企業の育成
- 3213 新産業の創出
- 3221 地域を支えるビジネスの振興
- 3222 地域産業の活性化
- 3231 企業立地の促進
- 3232 立地環境の向上
- 3241 明日の産業を担う人材の育成
- 3242 一人ひとりが能力を発揮できる就労の支援
- 3243 働きやすい労働環境づくり





基本目標	政策	施策	単位施策
5 安心の暮らしを支える環境づくり	51 豊かな環境を守り育て、地球にやさしい循環型社会を構築する	511 地球温暖化防止対策の推進 (現体系)531,532	5111 温室効果ガスの排出削減対策の推進 5112 二酸化炭素の森林吸収源対策の推進 5113 新エネルギーの導入促進
	目標 かけがえのない環境を将来の世代に引き継いでいくため、豊かな自然環境を守り育てるとともに、環境負荷を低減し、持続的な発展が可能な循環型社会を構築する。	512 豊かな自然環境との共生 521,522	5121 自然環境の保全と再生 5122 野生鳥獣の保護管理 5123 自然とのふれあい活動の推進
	現状と課題 日光国立公園に代表される優れた自然や里山などの多様な生態系は、全国に誇れる県民共有の財産であり、将来にわたって保全していく必要があります。 しかし、これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄型社会の経済活動により、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、エネルギー消費の拡大、廃棄物の増大など、環境への負荷の増大による悪影響が懸念されており、近年では温室効果ガスによる地球温暖化などの地球規模の環境問題も発生しています。 このため、県民すべてが、自然の大切さを認識し、豊かな自然環境を守り育てるとともに、これまでの産業活動やライフスタイルを見直し、環境への負荷の少ない、地球にやさしい循環型社会を構築していくことが求められています。	513 良好な地域環境の保全 511	5131 大気環境の保全 5132 水環境の保全 5133 土壌環境・地盤環境の保全 5134 騒音・振動・悪臭の防止 5135 化学物質対策の推進
		514 3R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進 512	5141 廃棄物の減量化の推進 5142 廃棄物のリサイクルの推進 5143 バイオマスの利活用
		515 廃棄物処理対策の推進 512	5151 廃棄物の適正処理の推進 5152 不法投棄対策の強化
		516 自主的な環境保全活動の推進 541,542	5161 環境保全県民総ぐるみ運動の推進 5162 環境学習の推進
	52 安全な暮らしを守る	521 安全な地域社会の実現 451,452	5211 安全なまちづくりの推進 5212 犯罪捜査活動の強化 5213 犯罪被害者等支援の充実・強化
	目標 地域を支えるすべての主体が連携して、やすらぎある暮らしの基本となる安全を確保し、犯罪や事故のない明るい地域社会を実現する。	522 交通安全の確保 453	5221 交通安全に関する啓発の推進 5222 効果的な交通指導取締りの推進 5223 道路交通環境の整備
	現状と課題 近年、高度情報ネットワーク化を背景としたハイテク犯罪や暴力団・来日外国人等による組織犯罪が多発する中、少年非行の深刻化や地域社会の連帯意識の希薄化等様々な要因が相まって、犯罪の増加や凶悪化の傾向が強まっており、県民の体感治安が低下しています。 また、本県は全国的に見て自動車の普及率が高いことが一因となり、人口当たりの交通事故死者数の割合が高いという憂慮すべき状況が続いています。 さらに、多様な販売形態が一般化する中、架空請求など消費生活の安定を脅かす事件も多発しています。 こうした状況の中、地域を支えるすべての主体が連携して、犯罪や事故の未然防止に努めるとともに、被害者等の相談・支援体制を確立し、安全と安心を実感できる地域社会の実現が求められています。	523 消費生活の安定 454	5231 消費者の自立の支援 5232 消費者トラブルの解消促進

